

2. (1)本年夏の交通対策の試行結果
- (2)大会本番に向けた総合的な交通対策への協力のお願い

---

～東京オリンピック・パラリンピック競技大会の  
交通マネジメントに関する取組について～

東京都  
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

# (1) 本年夏の交通対策の試行結果

## 2019年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15	<b>スムーズビズ推進期間</b>				20
21	チャレンジウィーク (7/22~26)、コア日 (7/24) を設定					27
28	<b>集中取組期間① (7/22~8/2)</b>					3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	<b>集中取組期間② (8/19~8/30)</b>					24
25						31
9/1	2	3	4	5	6	7

## (参考) 2020年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23		
<b>オリンピック期間 (7/24~8/9)</b>						
	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	<b>パラリンピック期間 (8/25~9/6)</b>				
	7	8	9	10	11	12

# TSMの実施状況 (7月24日・26日)

## 【高速道路】

### ＜実施内容＞

#### ■ 終日実施 (0時～24時)

- ・ 本線料金所流入調整 : 11箇所
- ・ 入口閉鎖 : 4箇所

#### ■ 交通状況に応じて実施

- ・ 入口閉鎖※ : 35箇所(24日), 33箇所(26日)
- ・ 本線車線規制 : 2箇所(24日), 2箇所(26日)

※最大の同時閉鎖箇所

＜TSM実施状況 (高速道路)＞



本線料金所流入調整 (東北道 浦和本線料金所)

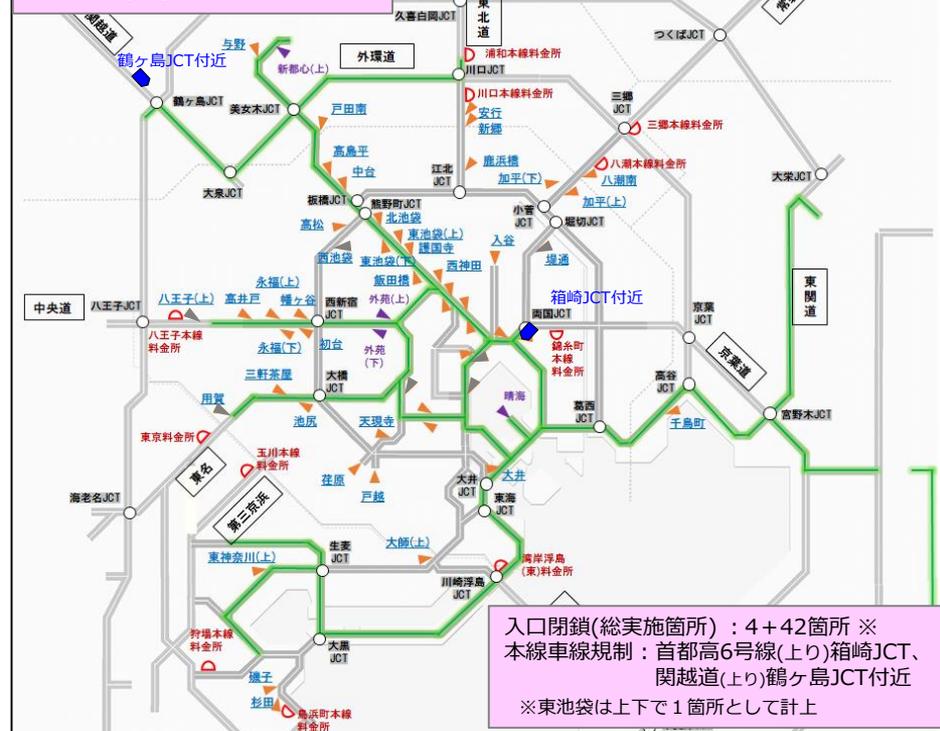


入口閉鎖 (首都高 三軒茶屋入口)

### 【7/24(水)TSM実施箇所】



### 【7/26(金)TSM実施箇所】



【凡例】 — ORN (大会ルート)    △ 本線料金所 (流入調整実施)    ◀ 終日閉鎖入口    ◀ 閉鎖入口 (追加)    ■ 本線車線規制

# T S Mの実施状況（7月24日・26日）

## 【一般道】

< T S M実施状況（一般道） >

### <実施内容>

#### ■午前中実施（5時～12時）

- ・環状七号線内側への流入調整　： 118箇所
  - 環状七号線の内側へ直進する交通に対する青信号の時間を通常よりも短くすることで、都心への流入交通を調整
  - 信号の調整率は、通常時から▲5%～10%程度



環状七号線外側（国道246号 上馬交差点付近）

### 一般道での対策イメージ

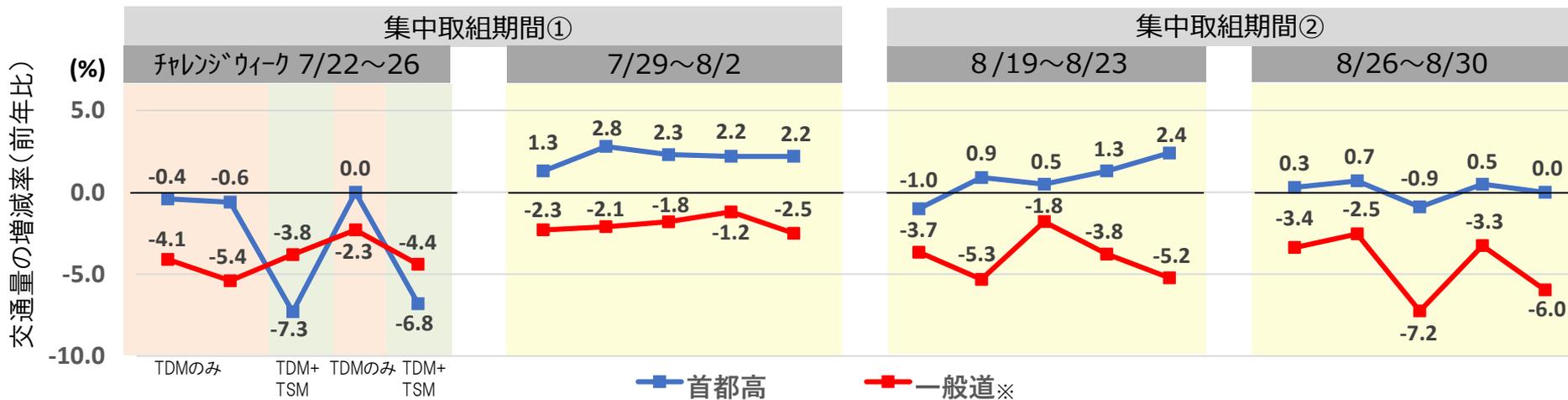


入口閉鎖（国道246号 三軒茶屋入口周辺）

# 試行期間における交通状況分析

## ・ 交通量低減の持続性

- チャレンジウィーク期間中の交通量は、TDM効果により首都高 約0.4%減、一般道 約4%減  
TDM+TSM効果により、首都高 約7%減、一般道 約4%減
- その他の集中取組期間においては首都高では交通量の低減傾向はうかがえない  
⇒首都高の交通量低減効果はチャレンジウィーク期間に限定。大会期間を通したTDM効果の発現が課題



※国道1号、4号、6号、14号、15号、17号、20号、246号、254号の15地点の断面交通量の合計

《参考：首都高の通行台数(2018年) 7月平日平均:110.1万台/日大会同時期最大:117.7万台/日》

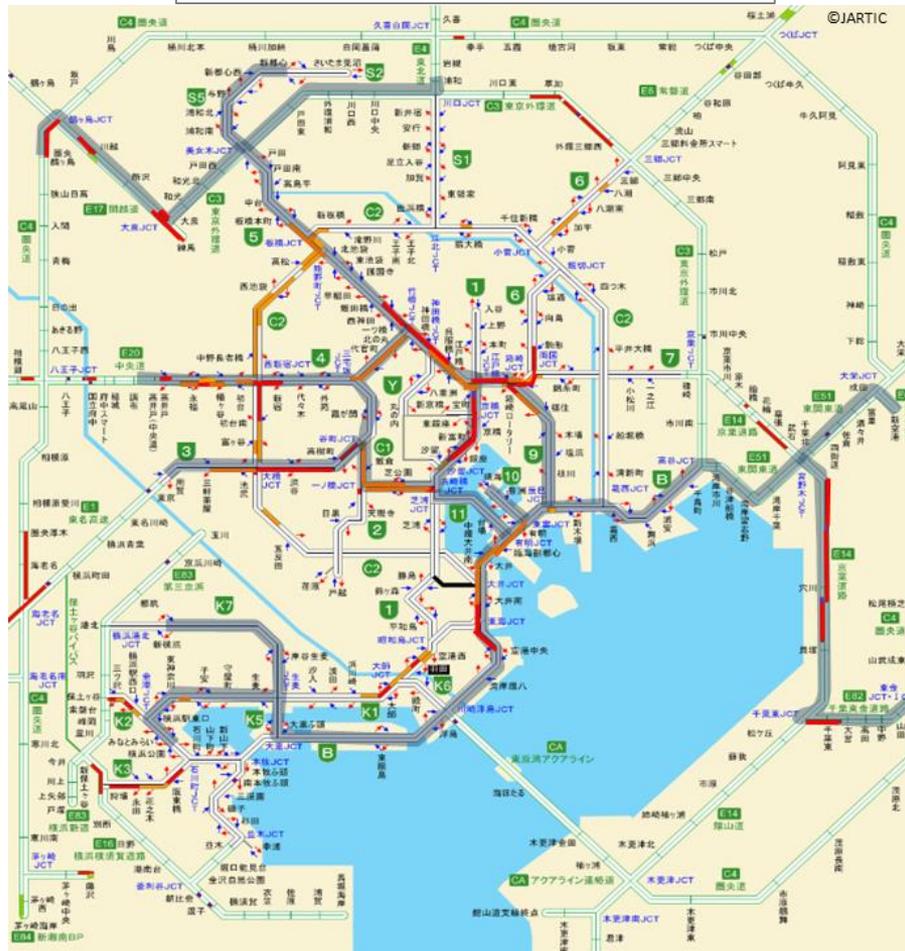
図 集中取組期間の日別交通量増減率

# 試行期間における交通状況分析

## ・渋滞状況の変化

○選手たちが通行するルートについて、前年と比較して円滑な交通流動を確保

2018/7/25(水)17:00 [ 前年同曜日 ]



2019/7/24(水)17:00 [ TDM+TSM ]



- 凡例
- 本線料金所(流入調整)
  - 入口閉鎖箇所
  - オリンピック・ルート・ネットワーク

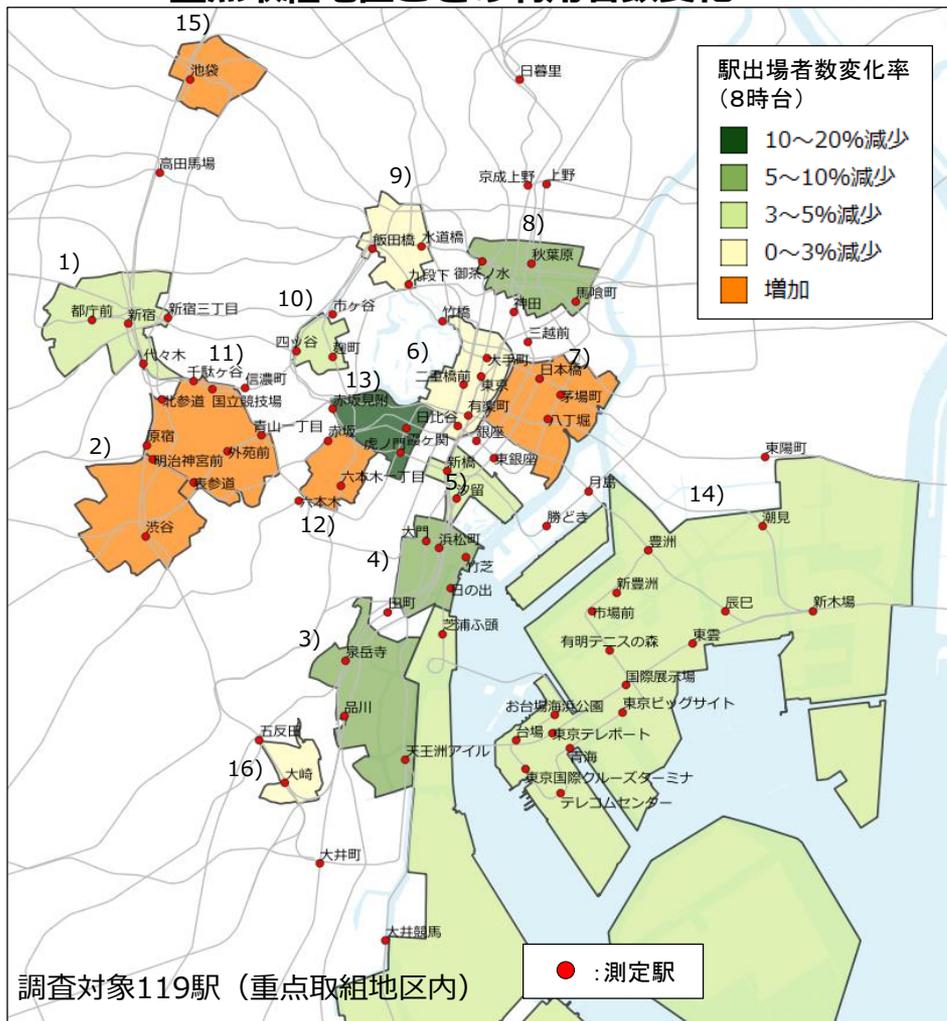
本線料金所(流入調整) 1 1箇所  
 入口閉鎖 計 3 6箇所  
 晴海、外苑(上、下)、新都心の4箇所  
 3 2箇所追加

# TDMによる効果（鉄道）

○コア日（2019年7月24日）における重点取組地区別の駅利用者数は、

- ・ピーク時間帯1時間（8時台）において16地区中11地区で減少した
- ・先導的なTDMの取組を行った地区や日では、利用者数が大きく減少したが、地区により変化率の差が大きい

重点取組地区ごとの利用者数変化 対前年同曜日比較



重点地区別改札出場者数の変化 対前年同曜日比較

重点取組地区	対前年比		TDMによる効果が大きかった駅の例* (ピーク1時間の利用者数の減少率)
	ピーク時間帯	午前中	
13)霞ヶ関・虎ノ門	-15%	-5%	霞ヶ関駅約22%減
04)浜松町・田町	-6%	2%	浜松町駅約12%減
03)品川	-5%	0%	
08)神田・秋葉原・御茶ノ水	-5%	2%	
05)新橋・汐留	-4%	3%	
01)新宿	-4%	0%	都庁前駅約12%減
10)番町・麴町	-3%	4%	
14)晴海・有明・台場・豊洲・大井ふ頭	-3%	1%	豊洲駅約10%減
06)大手町・丸の内・有楽町	-2%	2%	
09)九段下・飯田橋	-2%	1%	
16)大崎	-1%	5%	
15)池袋	0%	2%	
12)赤坂・六本木	1%	3%	
07)八重洲・日本橋	1%	4%	
02)渋谷	1%	3%	
11)青山・表参道	6%	4%	
<b>重点取組地区計</b>	<b>3%減</b>	<b>2%増</b>	

※中央省庁（霞ヶ関駅）や都庁（都庁前駅）、民間企業（その他）などにより、TDMの取組等を実施した効果

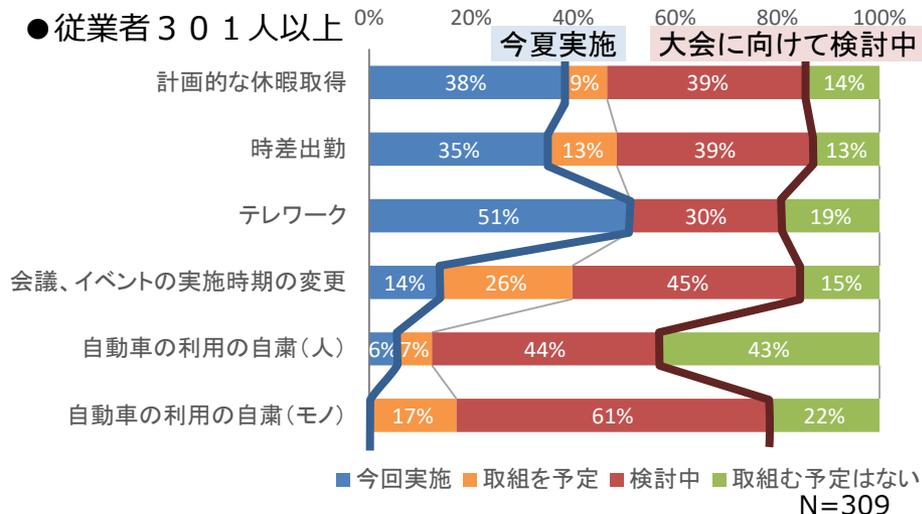
# 企業の取組状況（アンケート結果）

## ・スムーズBiz推進期間の取組状況（取組を行った企業の割合(規模別)）

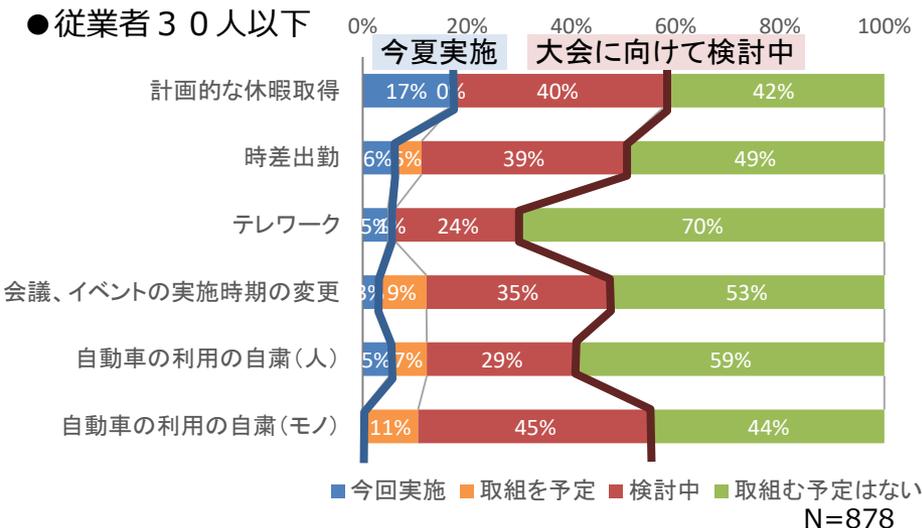
○大規模事業所では中小規模の事業所と比較して、取組を行った企業の割合、取組を検討中の割合ともに高い。中小規模の事業所では、取組の裾野を拡大していく必要がある。

### <人の流れ>

#### ●従業員30人以上

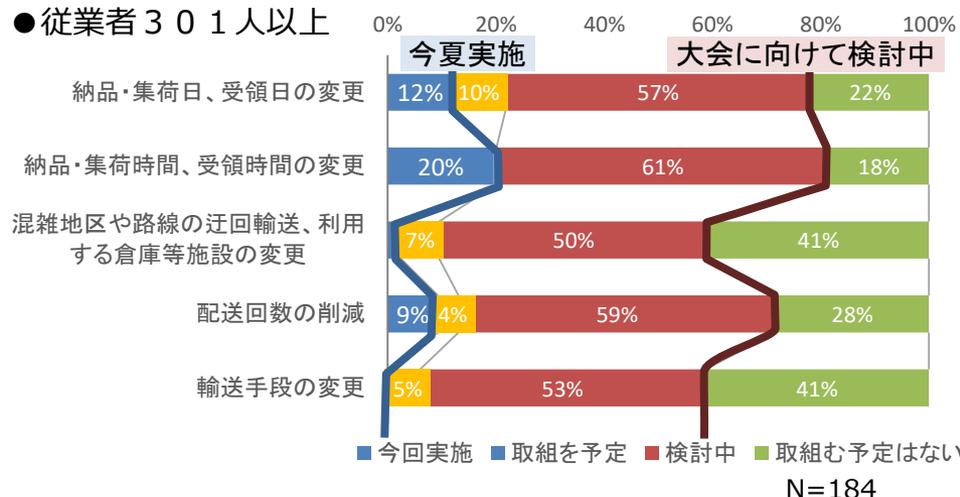


#### ●従業員30人以下

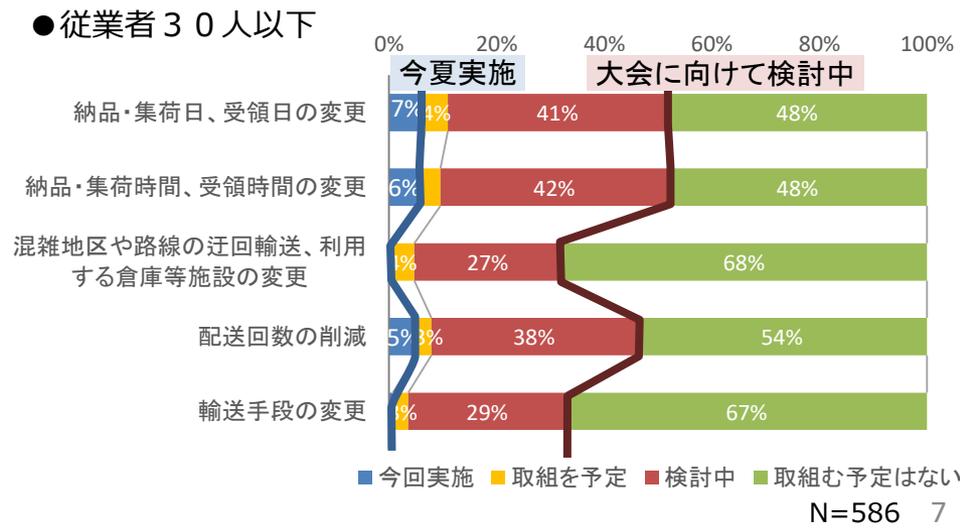


### <物の流れ>

#### ●従業員30人以上



#### ●従業員30人以下



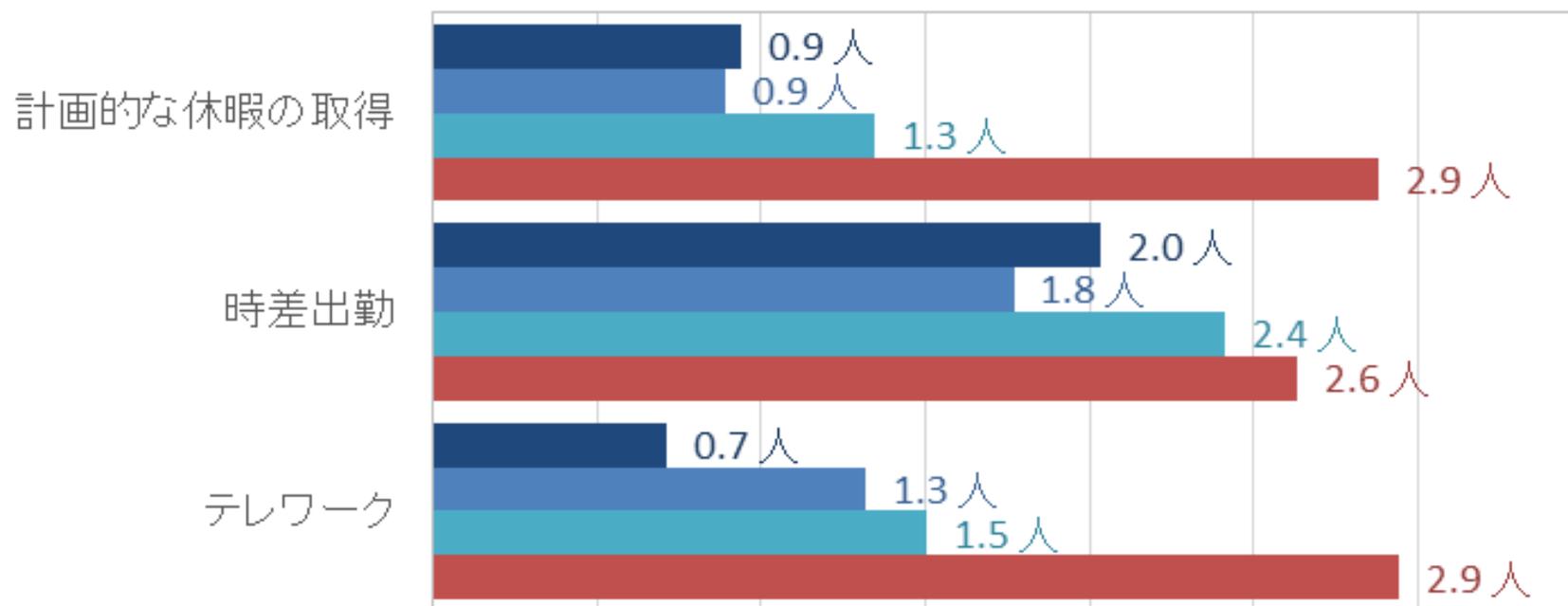
# 企業の取組状況（アンケート結果）

・スムーズBiz推進期間の取組状況（取組を行った人数割合(規模別)：人の流れ）

- 大規模事業所では、中小規模の事業所と比較して、事業所の従業者あたりの取組人数が小さい
- 大規模事業所では、取組割合を拡大していく必要がある

## 従業者10人あたりの取組人数

0.0人 0.5人 1.0人 1.5人 2.0人 2.5人 3.0人 3.5人



■ 従業者数301人以上 (194事業所) ■ 101人～300人 (125事業所) ■ 31～100人 (258事業所) ■ 30人以下 (198事業所)

※7月22日～26日（チャレンジウィーク）に特に集中して取り組んだと回答した事業所の集計

# 企業の取組状況（アンケート結果）

## ・スムーズBiz推進期間の取組についての課題や改善すべき点

### ①人の流れ（主要な意見）

○取組の本格化には、社内外の関係者の調整、就業規則の見直し、機器の調達等、事前の入念な準備が必要

#### <計画的な休暇の取得>

- ◆お盆休みに集中して休む業界であるため、休暇の分散取得は難しい
- ◆夏季繁忙期にあたるため社員の全体的な休暇取得ができなかった。（旅行会社、イベント会社等）

#### <時差出勤>

- ◆家庭の事情により、対応できない者も多かった。（保育園・デイサービス等の時間が変更不可。）
- ◆就業規則に変則勤務の規定がないため、見直しが必要。

#### <テレワーク>

- ◆モバイルPCの社員への配布、高速な通信回線の確保、WEB会議などのIT環境の整備
- ◆正社員以外への適用可否の検討

### ②物の流れ（主要な意見）

○物流の取組の推進には、サプライチェーン全体での協力が必要であり、発・着荷主、物流事業者間の調整、必要なスペース・機材確保等を含め、入念な事前準備が必要

- ◆開催期間においては、日ごとの詳細な計画が必要。
- ◆得意先で協力頂けたところとそうでないところがあった。協力頂けなかった得意先との合意がポイント。
- ◆具体的に納品日の変更等が必要な得意先を絞り込み、事前協議を実施し対応策を作成する必要がある。
- ◆夜間ストック場のキャパシティが小さく、日中輸送が夜間輸送に切り替わったとき、コンテナ置き場が不足しそうである。

## (2)大会本番に向けた総合的な交通対策への協力をお願い

### ① TDM (道路・鉄道)

#### 試行結果・得られた知見

##### a)目標達成に向けては更なる交通量低減が必要

- ・道路交通は一定程度減少。一方、首都高の交通量は一般道と比較して減りづらい傾向。目標達成に向けては更なる交通量減少が必要
- ・鉄道もピーク時を中心に利用者が減少

##### b)物流に関する取組加速が必要

- ・物の流れに関するメニューに取り組んだ企業の割合は人の流れに関するメニューと比較して少ない。交通量減少に向けて、取組加速が必要

##### c)大企業では1社あたりの取組人数の増加、中小企業では取組企業の拡大が必要

- ・大規模事業所では時差出勤やテレワークへの1事業所あたりの取組人数の割合が中小規模の事業所と比較して小さい。
- ・中小規模の事業所では取組を行った企業の割合が大規模事業所と比較して小さい。

##### d)大会期間全体を通した取組を継続する方策が必要

#### 今後の展開

##### (1)入念な事前準備による更なる交通量の低減

- ・働き方改革や物流効率化等、既存の施策とも連携し関係省庁と一体的に推進
- ・企業活動に与える影響の見える化
- ・交通需要の効果的な分散・抑制に向けた重点取組地区での働きかけの継続

##### (2)スムーズビズ等の取組の戦略的な推進

- ・コミュニケーションの充実による企業の理解促進と取組意欲の高揚
- ・表彰・公表を通じた取組意欲の向上
- ・中小企業や個人の行動変容に向けた働きかけの本格化

##### (3)顧客との物流に関わる調整の促進

- ・サプライチェーンに連なる様々な関係者の一体的な取組の推進
- ・物流効率化や走行台数の低減のきっかけとなる各種方策の展開

##### (4)追加対策（首都高速道路の料金施策）

- ・大会期間中の需要増、今回と比べ長期間を見据え、首都高の流動確保のための料金施策を導入

## ② TSM

### 試行結果・得られた知見

#### a)交通規制により、大会輸送の円滑性を一定程度確保可能

- ・TSMにより、都心部の高速道路において大幅な渋滞削減の効果が得られた

#### b)TSMを機能させるには、十分な交通量低減が必要

- ・TSMの実施による、郊外部の高速道路や一般道の一部における渋滞が発生した
- ・TDMによる交通量低減が少ない状況下では、TSMの流入調整等による影響が大きいことが試行によって把握されたため、TDMによるベース交通量の低減が必須である

#### c)入口閉鎖を予定している入口、迂回ルートの周知等が必要

- ・交通状況に応じて閉鎖する可能性のある入口等について、事前に十分な周知を行う

### 今後の展開

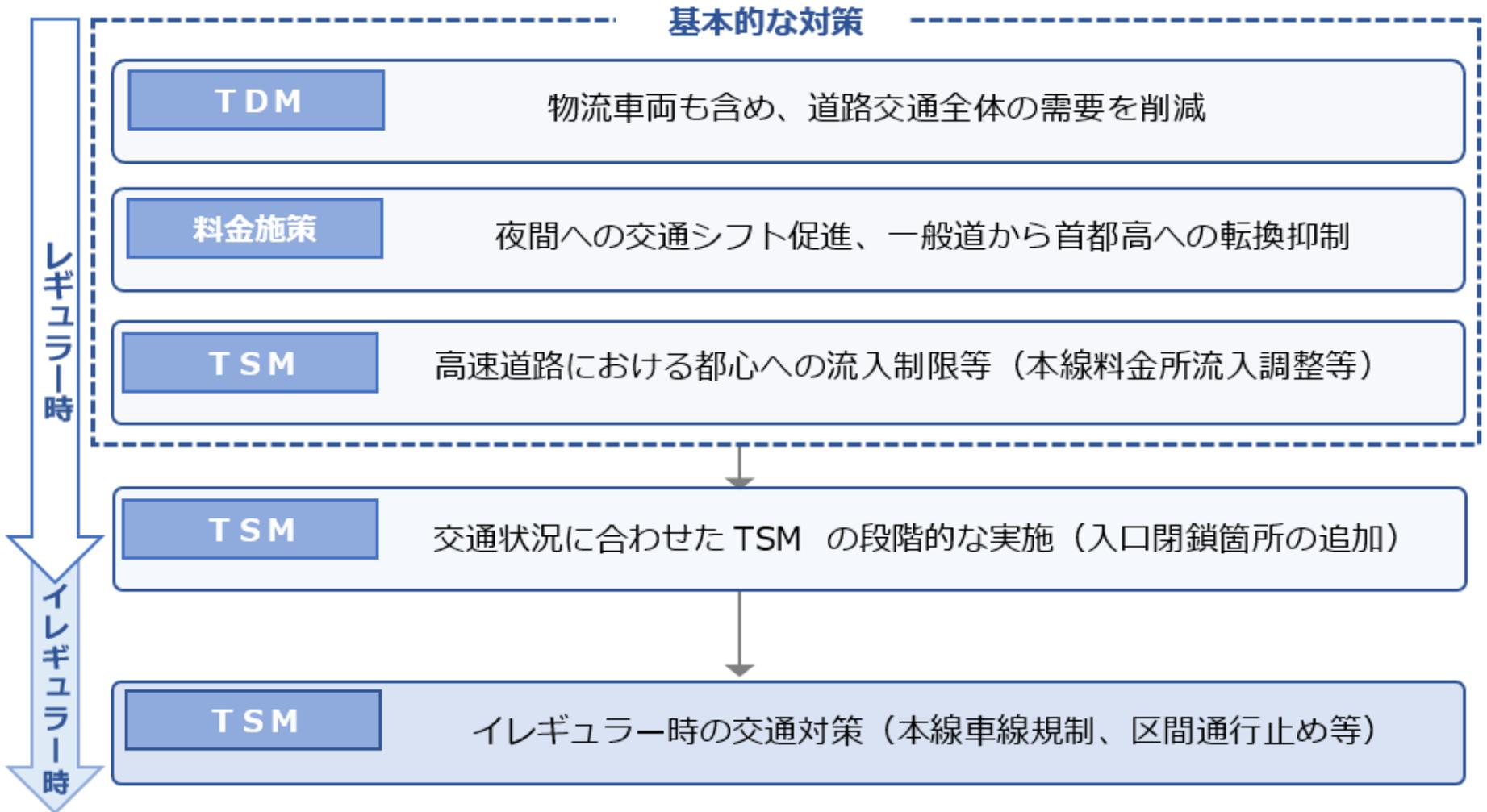
#### (1)運用の最適化

- ・試行の結果および追加対策の導入を踏まえたTSMの時間帯や実施箇所、運用方法の最適化を検討
- ・郊外部における対策の検討

#### (2)規制に関する情報提供

- ・他の交通マネジメント施策と一体となった、わかりやすく、きめ細やかな広報戦略の検討

# 道路の交通マネジメント運用の考え方



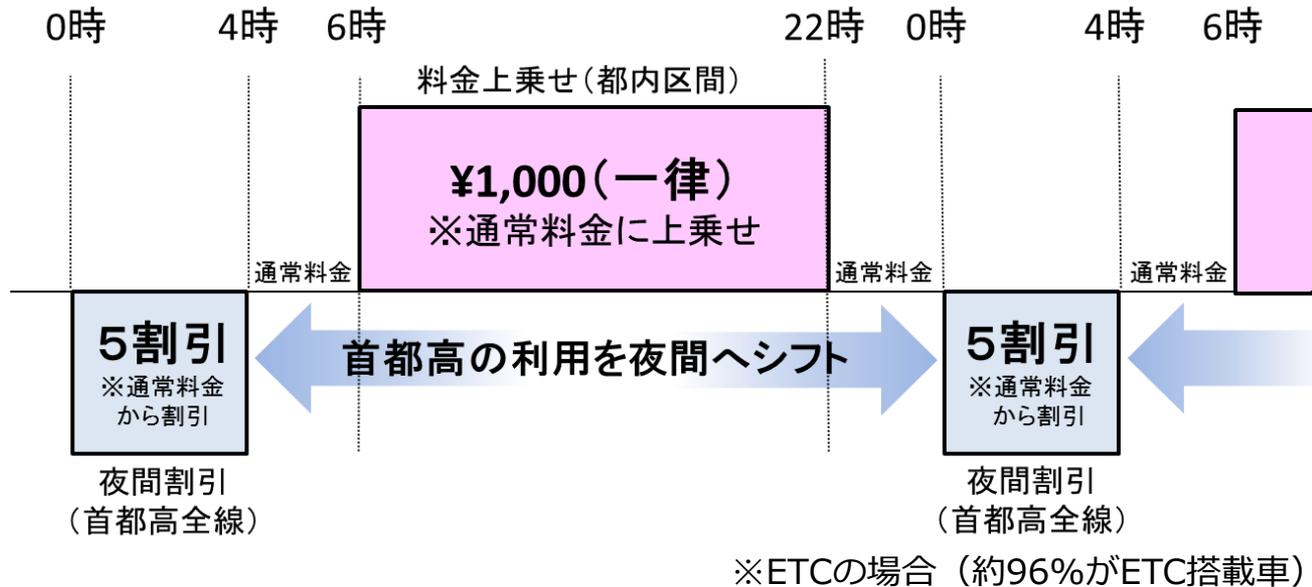
# 東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針

## ◆ 料金施策の内容

### ETC搭載車両

【夜間割引】 全車種、首都高全線、5割引

【料金上乘せ】 マイカー等、都内区間、1000円



### 現金車両

【夜間割引】 なし

【料金上乘せ】 普通車以下の全て、首都高全線（一部、下り線除く）、1000円

# 東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針

## ◆対象車種

E  
T  
C

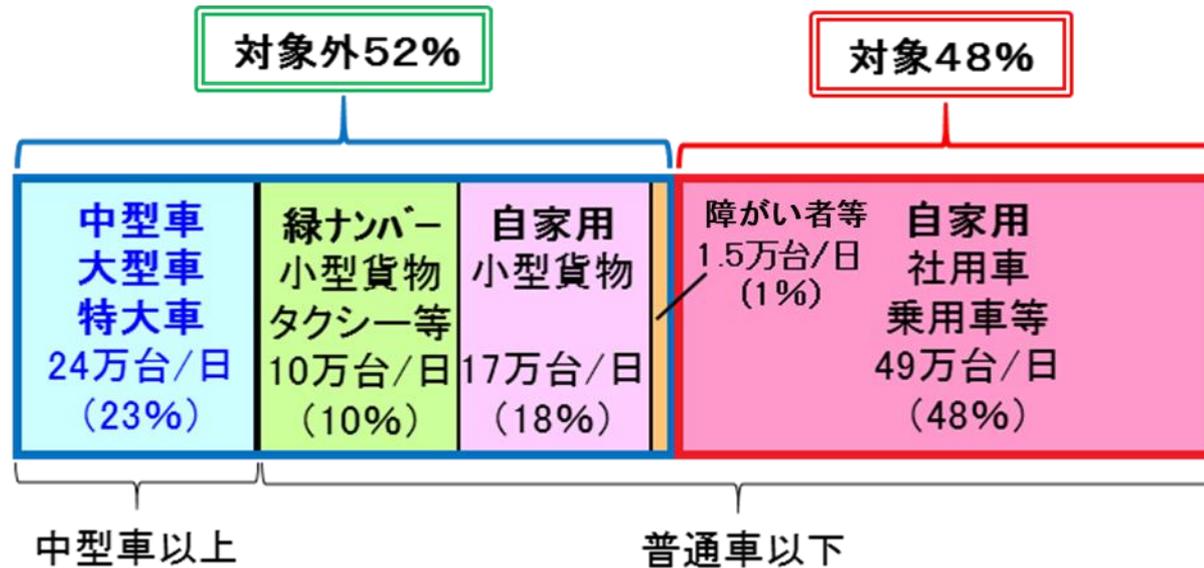
【夜間割引】 全車種に適用

【料金上乘せ】 マイカー等を対象に適用

他の交通への転換が困難な公共交通、物流車両、障がい者<sup>※1</sup>、福祉車両<sup>※2</sup>、緊急車両等は対象外（障がい者、福祉車両は事前登録制）

※1: 身体・知的・精神障がい者

※2: 社会福祉事業（第一種・第二種）の用にもっぱら供する車両等



現金車

【夜間割引】 なし

【料金上乘せ】 普通車以下の全てに適用: 首都高全線（一部、下り線除く）

## ◆適用期間

オリンピック大会 : 7/20~8/10、パラリンピック大会 : 8/25~9/6

# 東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針

## 車種区分イメージ（ETC搭載車で料金上乘せの対象外となる車種）

### 【A】首都高の5車種区分における「中型車」「大型車」「特大車」

<p><b>中型車</b></p>  <p>例) 普通貨物自動車(車両総重量8t未満かつ最大積載量5t未満で3車軸以下) など</p>	<p><b>大型車</b></p>  <p>例) 普通貨物自動車(車両総重量8t以上で3車軸以下)、路線バス(乗車定員30人以上) など</p>	<p><b>特大車</b></p>  <p>例) 普通貨物自動車(4車軸以上で大型車以外)、バス(定員30人以上※路線バス除く) など</p>
--	--	--

### 【B】一般に、ナンバープレートが「緑地に白文字」または「黒地に黄色文字」の事業用車両

<p><b>普通車</b></p> 	<p><b>軽自動車</b></p> 	<p><b>二輪</b></p> 
---	--	--

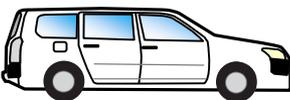
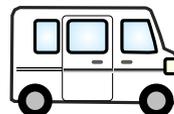
ナンバープレート例)

<p>練馬 *** あ 12-34</p>	<p>練馬 *** り 12-34</p>
---------------------------	---------------------------

※分類番号は問いません

のうち

### 【C】一般に、ナンバープレートが「白地に緑文字」または「黄色地に黒文字」の車両のうち、分類番号が「4\*\*」または「6\*\*」または「8\*\*」の車両

<p><b>普通車</b></p> 	<p><b>軽自動車</b></p> 	<p><b>軽自動車</b></p> 
---	--	--

ナンバープレート例)

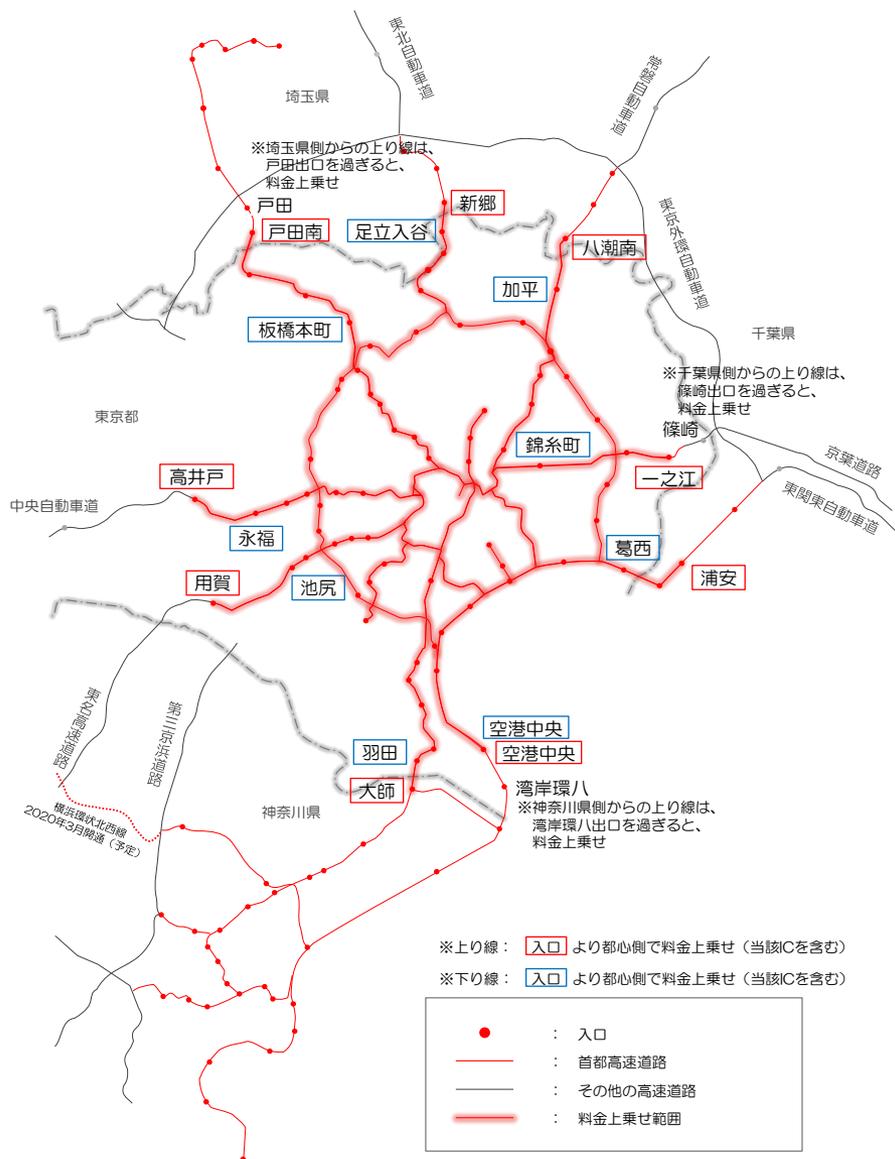
<p>練馬 *** さ 12-34</p>	<p>練馬 *** あ 12-34</p>
---------------------------	---------------------------

分類番号 : 「4\*\*」または「6\*\*」または「8\*\*」

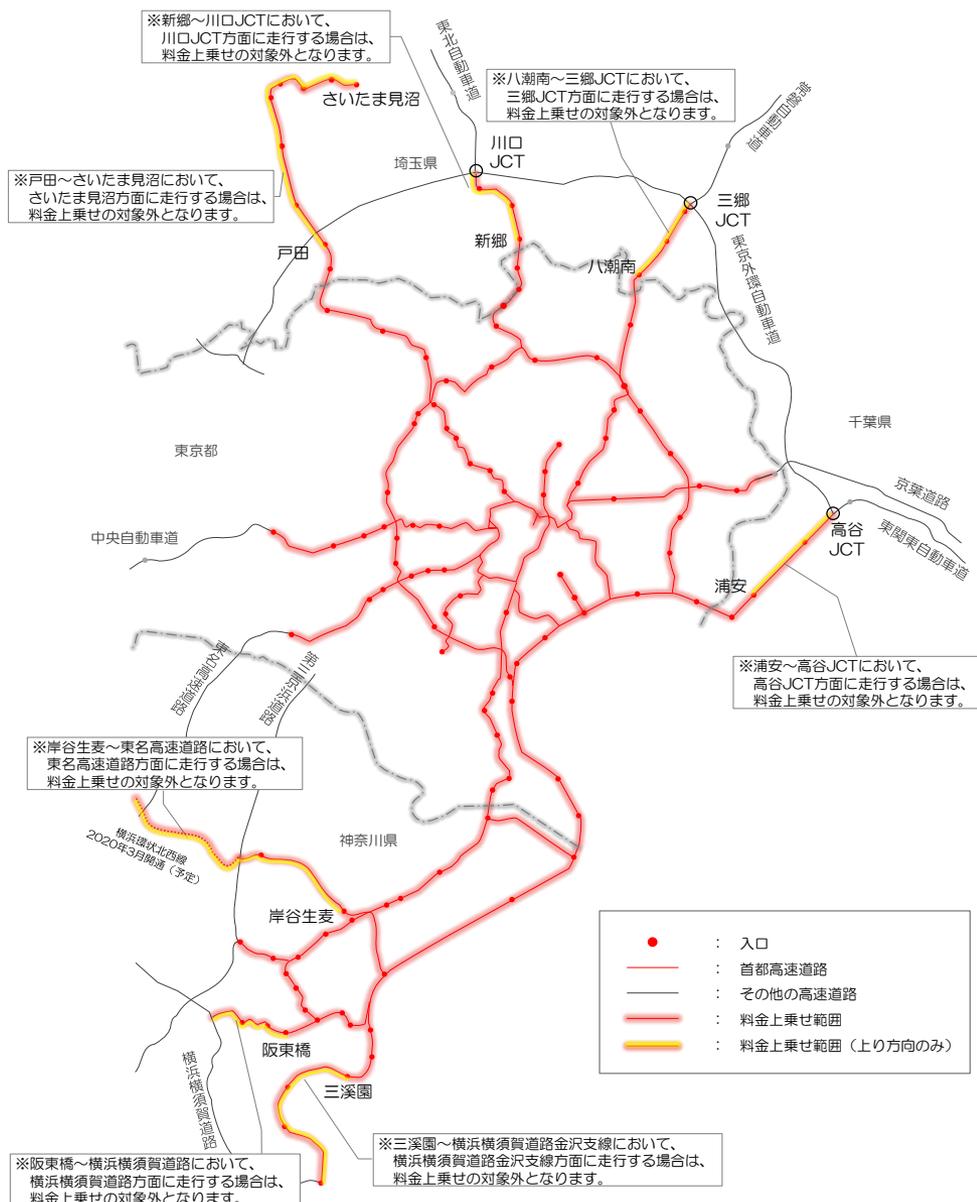
のうち

# 東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針

## 料金上乗せの範囲（ETC搭載車両）



## 料金上乗せの範囲（現金車両（ETC非搭載車両））



# 東京2020大会における会場周辺交通対策（2019.10）について

## 1. 会場周辺交通対策の目的

- ・会場等周辺の交通混雑緩和（安全、円滑な大会輸送）
- ・会場等のセキュリティ確保〔会場等：新国立競技場、東京体育館、選手村等27箇所〕

## 2. 各交通対策について

### ○ 進入禁止エリア（セキュアペリメーター）

- ・大会関係者以外の進入を禁止する区域
- ・会場等を囲む物理的なフェンスを設置
- ・大会関係者以外の全ての車両や歩行者、自転車が通行不可

#### 〔更新内容〕

- ①交通規制期間の追加  
（大会関連工事の期間は除く）
- ②交通規制道路の明確化
- ③規制の詳細を追加  
（通過交通の通行禁止、大会関係車両以外通行禁止等）

### ○ 通行規制エリア（会場直近対策）

- ・会場直近のため通行を規制する道路
  - ・規制標識を設置し、通過交通を制限
  - ・通過交通は通行不可  
（一部の区間を除き居住者や施設利用等、所用のある車両は通行可）
- ・歩行者、自転車は原則通行可

#### 〔更新内容〕

- ①エリアの変更（一部の会場）
- ②わかりやすく図面を独立

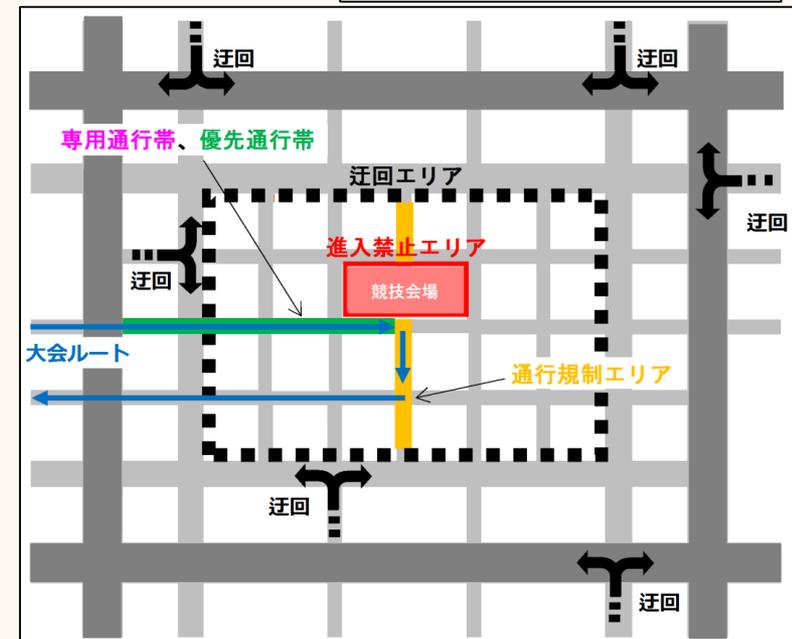
### ○ 迂回エリア（トラフィックペリメーター）

- ・会場周辺のため迂回を促す区域
- ・案内看板や広報等により、会場直近を通り抜けしようとする車両の迂回を促す（居住者や施設利用等、所用のある車両は通行可）
- ・歩行者、自転車は原則通行可

### ○ 専用通行帯、優先通行帯

- ・規制標識等により、大会関係車両の通行帯を指定
- ・専用通行帯：大会関係車両以外通行禁止
- ・優先通行帯：大会関係車両が通行していない場合は通行可

各交通対策のイメージ



# 東京2020大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針(2019.10版)



## 1. 目的

- ① 路上工事によるボトルネック化回避(大会関係地域等)
- ② 工事から発生する車両数の削減(都内全域)

## 2. 都庁発注工事の基本的な考え方

- その年に必要な工事を着実に実施することを前提

## 3. 工事調整の手法

- (A) 工事発注時期の調整 (B) 工事の一時休止
- (C) 工事車両の出入り調整
  - ・朝夕ピーク時間、競技会場周辺は競技前3時間から競技後1~2時間※を避ける(※ 新国立競技場、東京スタジアムは競技後2時間まで)
  - ・資材の搬入前倒し、廃材等の集約による搬出回数削減 等
- (D) 工事を夜間に実施・振替
- (E) 混雑回避(高速度道路や大会関係地域①を通行しない等)

## 4. 対象期間

- ① 路上工事による車線規制回避・車両数削減 計35日間
- ② 路上工事以外の施設工事等で車両数を削減 計25日間

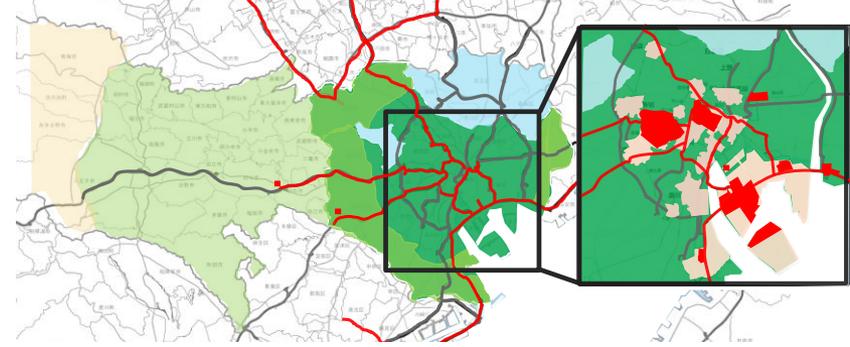
日	月	火	水	木	金	土
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24 オリ開会式	7/25
7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
8/9 オリ開会式	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
8/23	8/24	8/25 パラ開会式	8/26	8/27	8/28	8/29
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
9/6 パラ開会式	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12

## 5. 対象工事

- 都庁各局発注工事(各局事業に伴う委託工事等も含む)
- ※ 緊急対応工事や沿道建物へのライフライン供給工事、路面清掃等は対象外

## 6. 対象地域と取組

- 対象地域における工事調整の取組をきめ細かく設定
- 工事調整の取組が特に必要なエリアを細分化



	多摩地域 (圏央道外)	多摩地域 (圏央道内)	区部 (会場・ORN等がない区内)	区部 (会場・ORN等がある区内/ 環7外側)	区部 (会場・ORN等がある区内/ 環7内側)	大会関係地域② ・重点取組16地区 (大会関係地域①を除く)	大会関係地域① ・ORN/PRN ・観客輸送ルート ・競技会場周辺 (通行規制道路・迂回道路、迂回道路内)
路上工事	E 混雑回避 (25日間)		①日中の路上工事を回避、車両数削減(35日間)				
	道路工事 (都道等)			A 発注時期調整 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替 E 混雑回避	A 発注時期調整 B 一時休止 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替 E 混雑回避	A 発注時期調整 D 夜間振替	A 発注時期調整 B 一時休止 D 夜間振替※
	企業者 路上工事 (水道・ 下水道等)			②車両数削減(25日間)			※競技日程・時間によって、夜間施工時間を調整
公共工事 (路上工事以外の 施設工事等)			A 発注時期調整 B 一時休止 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替 E 混雑回避				A 発注時期調整 B 一時休止 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替※ E 混雑回避

## 7. 今後の対応、その他工事調整の取組

- 都庁各局工事で取組方針(2019.10版)に沿って対応
- 建設発生土の受入を調整
- 工事関係事業者へ広く工事調整の協力を依頼
- 事業者へ路上工事の抑制を依頼(大会関係地域①)

# 2020年のTDM実施方針（道路交通）

【実施期間】 2020年7月20日（月）～8月10日（月）（オリンピック開催期間＋開閉会式前後）  
2020年8月25日（火）～9月 6日（日）（パラリンピック開催期間）

※首都高料金施策の実施期間も同様

日	月	火	水	木	金	土
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24 オリンピック開 会式	7/25
7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
8/9 オリンピック閉 会式	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
8/23	8/24	8/25 パラリンピック 開会式	8/26	8/27	8/28	8/29
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
9/6 パラリンピック 閉会式	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12

【呼びかけ】 オリパラ開催期間に加え、オリンピック開閉会式前後も、選手・関係者の出入国や練習会場等との往復、諸行事の開催などにより、道路交通を中心に交通量の増加が見込まれる  
⇒ 円滑な大会輸送を実現するため、早朝夜間へのシフト等、特に道路交通の交通量低減の取組を呼びかけていく

## 【目 標】・一般交通

都心部（重点取組地区）について、大会前の交通量の30%減を目指す

東京圏の広域（圏央道の内側）について、大会前の交通量の10%減を目指す

## ・首都高速道路における交通量の更なる減

東京圏のオリンピック・ルート・ネットワーク（ORN）、パラリンピック・ルート・ネットワーク（PRN）の基幹をなす首都高速道路については、交通量を最大30%減とすることで、休日並みの良好な交通環境を目指す（TDM、料金施策等により実現）

# 2020年のTDM実施方針（公共交通）

【実施期間】 2020年7月24日（金）～8月9日（日）（オリンピック開催期間）

2020年8月25日（火）～9月6日（日）（パラリンピック開催期間）

※通勤については特に平日

日	月	火	水	木	金	土
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24 オリンピック開 会式	7/25
7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
8/9 オリンピック閉 会式	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
8/23	8/24	8/25 パラリンピック 開会式	8/26	8/27	8/28	8/29
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
9/6 パラリンピック 閉会式	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12

【呼びかけ】 オリパラ開催期間中は、選手・関係者に加えて観客等の移動も発生することから、公共交通も含めて、交通量の増加が見込まれる

⇒公共交通についても、重点的に交通量低減の取組を呼びかけていく

※平日は企業活動等に伴う移動が多いため、企業等に集中的な取組を呼びかけていく（テレワーク、時差出勤、休暇取得等）

※土日・祝日は私事移動が多いため、個人の積極的な取組を呼びかけていく

【目 標】 局所的な混雑への対応などにより、現状と同程度の安全で円滑な運行状況を目指す